

事例

- 82歳男性、高血圧、高脂血症、心房細動、陳旧性心筋梗塞、脳梗塞後遺症で加療中
- 10年前に心筋梗塞を発症、冠動脈ステントが留置されている。8年前に脳梗塞を発症し、左片麻痺となったが、リハビリで歩行可能な状態となった。左半身の筋力低下は残存している
- 徐々に全身状態が悪化し、嚥下機能も低下してきている
- 先月誤嚥性肺炎で入院。この1年で2回目の入院であった。加療され2週間で退院
- 主治医は、今後も肺炎を繰り返す可能性が高いと判断
- 全身の動脈硬化も進んでおり、再び脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患を発症するリスクが高いと考えている
- 今日退院後初めての外来。食事の時にたまにむせることはあるが調子はまずまず。本人は今後のことを少し心配しているものの、まだまだ大丈夫と考えている
- 本日あなたは外来で、患者さんと今後のこと、もしものとき、について話そうと考えています。

ロールプレイの目標

- ・ 一般的なルールを使ってみる
- ・ 病状の認識を確かめる
- ・ 話し合いを導入する

個人作業

あなたが患者を担当する医療者だったら、どんな言葉で話し始め、どのように声掛けをするか書き出してみましよう。(7分)